

(1)



T.O.S. 通信

第39号

平成31年1月



発行 社会福祉法人 民生博愛会
発行責任者 理事長 黒 萩 裕
住所 北斗市中央2丁目3-23 TEL(0138)73-5148

迎春

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

各保育園お遊戯会のハイライトシーンです。子ども達が一生懸命がんばっています。



「ひつじのモコモコ」

第四東光保育園(0才児)



「365日の紙飛行機」

東光保育園(5才児)



「ひょっこりひょうたん島」

大野保育園(2才児)



「ペコリナイト」

第二東光保育園(4才児)



「マスカット」

第二大野保育園(3才児)



「ペンギンサンバ」

第三東光保育園(1才児)



ドライブ外出

清華園デイサービスセンター



ユニット忘年会

特別養護老人ホーム清華園

東光保育園

TEL 73-2984
FAX 73-2901

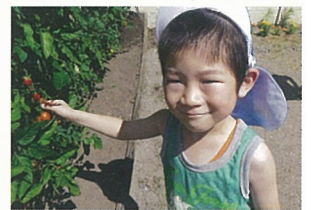


野菜の収穫

東光保育園では毎年、年長児松組が野菜の収穫をしています。自分達で種を蒔き、水やりや雑草取りなどのお世話をしながら野菜の生長を観察しています。

今年にはラディッシュ、ミニ大根、ミニトマト、ミニ人参、枝豆を育てました。蒔いた種が芽を出すと皆大興奮!!一緒に遊んでいた小さいお友達も興味津々で、松組のお友達と一緒に観察しながら「種まきしたいなー!!」と羨ましがれる声も聞こえてきました。

トマトの花が蕾をつけ花を咲かせ



ると子ども達は顔を近づけて花の香りを楽しみ、「花や葉っぱからトマトの匂いがするね!!」と友達と匂いをかいだり、土から少し顔を出した大根や人参を見て「あー!大根見えてる!!」などと嬉しそうに生長を喜び合っていました。



野菜の収穫を通し食育の一環として好き嫌いなく何でも食べようとする気持ちや、野菜ができるまでの生長を間近に見て食べ物を大切にできる気持ち育てよう、これからも取り組んでいきたいと思えます。



第二東光保育園

TEL 73-3094
FAX 73-5315

お買い物ごっこ

30.11.30



年2回行われる以上児交流会、今回は「お買い物ごっこ」を楽しみました。自分達で作ったバッグの中のお買い物券でたくさんのお友達をまわりました。年長児ゆり組のお友達が売り子をしてくれました。食べ物コーナーは、オムライス、焼きそば、アイス等おいしい物がいっぱい。魚釣り、またあてコーナーでたくさん遊び、雑貨屋さんでは何を買おうか悩む姿も見られました。雑貨屋さんの品物は、3クラスの子どもの達の手づくりです。たんぽぽ組はアクセサリ、ちゅうりつぷ組はけん玉担当。ゆり組製作のタブレットは一番人気でした!!



第三東光保育園

TEL 7373-2281
FAX 7373-2577

「かめさんもいたよー!!」



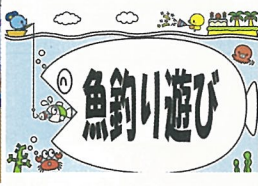
「よく見て、よくねらて!!」



「あー、逃げちゃうよー!!」



「大きいの連れてたよー!!」



お遊戯会を終えたところある昼下がり、年長児が大好きな絵本『ねこごさかな』を見ていたら、誰からというわけでもなく、そんな一言が飛び出しました。

「釣り竿はどうやって作る?」
「海は魚だけじゃないよね。」
「ヒトデとかウニもいるんだよ。」
自分達で何やら魚釣りに必要な物を考えて作り始めました。

しばらくすると、色々な海の生き物と釣り竿が出来上がり、そろそろ魚釣りかと思いきや、「で、海はどうする?」「海だもん、船はどうする?」海には船で行かなくちゃ。……

子ども達の発想はどんどん膨らんでいき、皆が乗れる船も作る事になりました。それぞれの思いを自由に形にして行く子ども達。窓に竿立て望遠鏡。テレビが付いたりと個性的な船も出来上がりました。

全てが完成し、保育室一杯に広がった海へ「いざ、出航!!」絵本の一場面をきっかけに、子ども達が発展させていった魚釣り遊びは、どの船も大漁となりました。



「望遠鏡はここに付けよう!」



「錠もつけようか?」



「かわいくしちゃうよ♥」



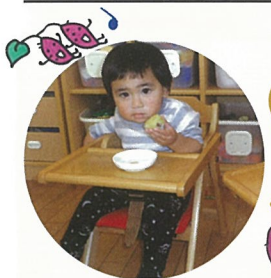
「名前も書いておこうね」



「ハートも付けちゃえ!!」

第四東光保育園

TEL 7373-6958
FAX 7373-6980



おいしかったよ

アツアツ ホクホク やきいもかい

秋が深まり始めた10月12日、やきいも会をしました。

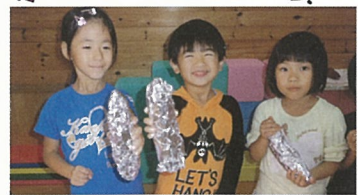
はじめに年長児ぞう組が、みんなを代表してさつまいもをキッチンペーパーやアルミホイルで包みます。

おいもが焼けるまでは、職員の手袋シスターを見たり、いも堀りゲームをしました。そしていよいよおいもが焼けたお知らせが届き、みんなのお楽しみ時間です。待ちに待ったアツアツのおいもを食べる表情は、どの年齢の子ども達もとても美味しそうでした。

今後も季節ならではの行事をみんなで楽しんでいきたいと思えます。



♪ おいもをつつみました ♪



〜 焼きたてのおいもはアツアツ! 〜



ゲームでおいもをゲット!!



2人一緒に
かっこいい～

“ポーズも
きまってるネ”



かわいい!!



毎年恒例となっている「ハロウィンパーティー」年長組のお友達は最後の仮装に「気合!!」が入っています。

「年長組」最後の
ハロウィン

大野保育園

TEL 777-8104
FAX 777-8839

子供達の仮装姿
いかがでしたか?



とても素敵
でした



「トリックオアトリート」と言ってお菓子をもらい、みんなで食べたり、ゲームを楽しみました。



「私たち
どうですか」



ガオ～



《徒歩遠足 H30.9.14》



情とても素敵です。

おうちの人が作ってくれたお弁当を持って、0・1・2歳児は『ラッコ公園』3・4・5歳児は『児童公園』まで徒歩遠足に行きました。いつものお散歩に出かける公園よりもちょっとびり遠くの公園。子ども達は張り切って出かけていきました。おもしろそうな遊具で沢山遊んだ後は、待ちにまつたお弁当!!お弁当箱のフタを開けた時の子ども達の表情とても素敵です。

5歳児 ひまわり組



お外、気持ちいいね!



0・1歳児 つぼみ組

第二大野保育園

TEL 777-7447
FAX 777-7769



イエーイ!! いただきま～す!!



小さなお友達は保育園でお弁当!!



4歳児 すずらん組



2歳児 たんぽぽ組



子育て支援センター

『なかよし広場』

TEL 73-8154
FAX 73-8154

『ハロウィン』

10月30日(火)、おひさまクラブ、なかよし広場合同による「ハロウィン」を初めて行いました。参加するお友だちには仮装してもらい、輪投げ、お菓子キャッチ、ピニャータ等のゲームをしました。ピニャータのコーナーでは、小さいお友だちも自分で棒を持ち頑張ってお菓子をゲット!! 楽しい時間を過ごす事ができました😊



「アンパンマンに仮装」



HAPPY HALLOWEEN



「ピニャータコーナー」



「ほくほくジャックオランタン!」



「輪投げコーナー」

ねらって! ねらって!

『おもちゃつき会』

11月29日(木)に毎年恒例の「おもちゃつき会」を行いました。初めて見る白と杵の大きさにびっくりして白の中を覗きこむお友だちもいましたよ。



よいしょ!
よいしょ!



何をつけてたべようかな



あんこおいしい♡



「よいしょ!よいしょ!」のかけ声に合わせてながら、お母さんと一緒におもちをつきました。完成したおもちに、砂糖醤油やきな粉等好きな具材をトッピングして食べました。

子育て支援センター

『ゆめのポケット』

FAXTEL 77-1904

『親子でハロウィン制作』

11月22日(木)「ハロウィン」に向けて、カボチャのランタンを作りました。紙コップに色画用紙を貼り魔女の帽子のせました。中をのぞくとユラユラとLEDのランプが揺れています。参加したお友だちは小さい子が多く、ほとんどお母さんの作品となりましたが、お星様を貼ったり目を付けたりとお手伝い出来る所は頑張っていました。



中でランプがついています



お気に入りでお手放しませんでした

完成した作品は様々でしたが出来上がったランタンはとても気に入ってもらえた様です。お菓子はたくさんもらったかな?



お母さんと一緒にランタンを作りました。とても上手ですね!

『お母さん講習会』

『キャンドル講習会』

12月3日(日) sayuRiさんを講師に迎え、押し花とジュエルキャンドルで色鮮やかなキャンドルを作りました。

ドロドロに溶かしたキャンドルを瓶の内側に廻し入れてコーティングします。そこへ事前にデザインした押し花を貼り付けます。この作業にお母さんたちは時間を掛けます。20種類以上ある押し花はどれもきれいで同色で統一する人もいました。外側は完成しました。



色々悩みながらデザインしています



実際に瓶の内側に貼り付けます

次は内側です。その瓶にスッポリと入る別容器にロウソクの芯とジュエルキャンドルを入れて固めます。その2つを組み合わせたら完成です。



素敵なキャンドルの完成!



お母さんたちお疲れ様でした

初めて扱うジュエルキャンドルに苦戦しながらも素敵な作品が出来上がりました。クリスマスには灯りが点るかな?

特別養護老人ホーム

清華園

TEL 7374-3100
FAX 7374-6988

上磯婦人ボランティアの紹介

今回は「上磯婦人ボランティア」を紹介致します。

清華園ではたくさんの方のご協力の下、行事を開催していますが、中でも上磯婦人ボランティアの皆様には、永年に亘り、お手伝いしていただいております。清華園にとって欠かせない存在であります。

会の成り立ちを福島会長や会員の方にお話を伺った所、昭和47年に上磯婦人ボランティア連盟として発足して以来、さまざまな活動を行っているなか、昭和50年清華園開設後間もなく清華園でボランティア活動を始めたとの事です。当時は行事のお手伝いだけでなく、余興にも参加したり、浴衣等の布を解して裁断し、入居者に合わせて布オムツ縫製もしていただきました。

現在も清華園には行事のお手伝いの他毎月1回清拭縫製にも来園していただいております。この清拭縫製は会員の顔合わせの場ともなり、縫製しながら近況を話し合ったりと皆様にとっても楽しみとなっております。上磯婦人ボランティア連盟は17名で構成されています。会員募集中なので興味のある方は参加してみたいかかでしょうか。



清拭縫製だけではなく、衣類の補修もお願いしています



餅つきの際は、ついたお餅を入居者と一緒に丸めます。

清華園での思い出… 行事 写真館

百歳お祝い



今年度百歳を迎える入居者3名に内閣総理大臣から表彰状を授与されました。

秋のドライブ



秋の大沼湖畔をドライブ。紅葉も綺麗でアイスクリームも美味しかったです!

調理実習



今日の昼食はお好み焼き!みんなでおいしくいただきました。

北斗高等支援学校交流会



北斗高等支援学校の生徒が来園し、寸劇「水戸黄門」を披露していただきました。

清華園 デイサービスセンター

TEL 7474-3088
FAX 7474-3060

プログラム活動について

デイサービスセンターで行われているプログラム活動は、手先を使うことが好きな方向けの作品作りと、体を動かす事の方が好きな方向けのレクリエーションゲームに分かれています。

今回はレクリエーションゲームの紹介をさせていただきます。ゲームの内容は一週間ごとに変わり、利用者の方が飽きずに楽しんでもらえるようにしています。チーム戦より個人戦のゲームの方が「良い点数をとるぞ!」と皆さん意欲的に参加されています。

腕の痛い方、足の痛い方、視力が悪い方には、点数を書いてある場所で職員が手を叩いたり、声掛けをし場所を伝えたりするなどして全利用者さんに楽しんでいただけるよう工夫しています。

毎月、一つ新しいゲームを取り入れるようにしているのですが、凝ったゲームよりも「自分でできるかも!」と思えるような簡単なゲームの方が人気があるようです。これからも利用者が楽しんでもらえるように色々なレクリエーションを考えていきたいと思っています。当センターで行っている、ゲームを3つ紹介します。



『ビーチボールひょこひょこ』

ビーチボールの中に少し水が入っていて点数の良い所に着地してもボールがひょこひょこ移動してしまいます!ドキドキはらはら楽しいゲームです



『力を合わせて』

二人で協力合って、穴にボールを入れるゲームです。息が合わないと、なかなか上手に入りません。最後の一個になると皆さん必死です!



『あの鐘を鳴らすのは』

椅子の下に鈴がついた紙コップがぶら下がっていて、打った球が椅子の下を上手に通るとチリンチリンと綺麗な音色が響きます!

T・O・S いきがい

TEL 74-3100
FAX 73-6988

当事業所は介護予防を目的とし「いつでも元気で住み慣れた地域で暮らしたい」という方々の思いに応える活動を行っております。

介護予防体操やレクリエーション(ゲーム・手芸活動)、利用者様同士の談話、そして月1回のドライブ外出を通じて「生き生きと活気のある日々を過ごせる」お手伝いをさせていただいております。

11月には「北斗市地域リハビリテーション活動支援事業」で専門職の理学療法士(P.T)・作業療法士(O.T)・言語聴覚士(S.T)の方々が「自宅で元気に生活し続けるに必要な4つの要素」をテーマに、約1時間の実践を交えた体操と講義を、各会場へお越し頂き開催致しました。利用者様は真剣に耳を傾けておられました。

また、今後の生活に不安を少しでも解消していただけるよう、北斗市の在宅介護支援センターや地域包括支援センターと連携して、ご自宅での様々なご相談にも対応する事ができますので、ぜひご利用下さい。

利用者様の笑顔が絶えない活動を心掛けております。



「いきいき暮らし講座」の様子
皆さん、真剣です



ご自宅まで送迎しますので、買い物ではたくさん買っています!

ふれあいサロンすまいる

TEL 74-3100
FAX 73-6988

3つの「助」

住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らし続けることは、地域住民誰もが願いです。そのためには、次の3つの「助」を理解して、実践していく事が大切だとわかっていきます。

「自助」＝自分で自分を助けること

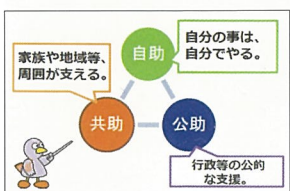
自分の力で住み慣れた地域で暮らすために、自発的に自身の生活課題を解決する力

「共助」＝協力協働すること

家族・友人・サロン活動仲間など、個人的な関係性を持つ人間同士が助け合い、それぞれが抱える生活課題をお互いが解決し合う力。自治会などの助け合い運動なども含まれます。

「公助」＝社会福祉制度のこと

自助や公助では対応できないことを法律や制度に基づき、行政機関などが提供するサービス。市が行う高齢者福祉事業や生活保障制度などがあげられます。



ともに支え合い助け合う「向こう三軒両隣」の地域社会の実現には、3つの「助」は、全てサロンの活動で賄えることができます。

ヘルパーステーション

清華園

TEL 74-3277
FAX 74-3066

訪問介護員として 日々感じること

平成30年4月より、常勤の訪問介護員として勤務が始まり、約8ヶ月が経ちました。当初は、パート勤務していた頃と勝手の違いに戸惑い不安と心細さ、緊張の毎日でしたが皆様の支えのおかげで今日に至っております。

ケアにおいては、利用者様と接する機会も増え、得るものがたくさんあります。それぞれの人生を歩んでこられた先輩のお話は、驚きあり、感動あり、時には自分の在り方を考えさせられることもあり、人生経験豊富な先輩の偉大さを感じながら、日々勉強させて頂いています。気が付けば、我が母の言葉にも耳を傾ける時間が増えたような気がします。

時間に追われながらの仕事で、心が減る事もありますが、利用者様からの「待ってたよ」「ありがとう」「助かるわ」「また来てよ」等の温かい言葉をいただく、とても励みになり、次への活力となり元気をもらっています。

まだまだ未熟者ではありますが、利用者様のお役に立てるよう、訪問介護員として日々努力と勉強を積み重ねていきたいと思っています。

居宅介護支援事業清華園 在宅介護支援センター清華園

TEL 74-3066
FAX 74-3060

急速に高齢化が進んでいる現在、心身の疾患やケガ等で自分や家族に介護が必要になった時のことや将来に対する不安の声が常に聞こえています。

そこで、地域にお住まいの皆様を対象に、毎年介護者教室を企画し、今年10月13日に「在宅介護もしものために」をテーマとして開催しました。

内容としては、介護認定の申請の仕方を説明し、訪問、通所等、在宅介護を手助けしてくれるサービスについて紹介しました。しかし、在宅で介護をしている家族も年齢を重ねて、病気にもなったりします。

もしも、そうなるってしまった時の方法の一つとして、施設利用についてのお話もさせていただきました。その中で施設の種類や料金等について説明し、参加された皆様も興味津々に聞いておられました。

次回も違ったテーマで開催する予定でありますので詳細が分かり次第、お知らせいたします。送迎も行っていますので、多数の方のご参加お待ちしております。



在宅、施設それぞれのサービスについて説明しました。



清華園の生活相談員に施設の概要を説明してもらいました

法人本部

新年あけましておめでとうございませす。日頃より、当法人の運営にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は各地で様々な災害がおこり、北海道では胆振東部地震により北海道全域が停電になり不自由な生活を強いられ、改めて自然災害の恐ろしさと電気の大切さが再確認させられました。

お互いに助け合いながら困難を乗り越えていくことが本場に必要な事であると思える年であったなと感じました。被災した地域の方々には心からお見舞い申し上げます。

さて、昨年末に厚生労働省の統計調査で発表されました、二〇二八年度の出生率が三年ぶりに百万人を割り統計開始以来、過去最低の九五万人と発表されました。原因として、結婚率・晩婚化による出生率・夫婦の出産数の低下などであり、理由として多かつたのが経済的な面や家事育児の協力が得られないなど、核家族化や共働き世帯の増加など家庭を取り巻く状況が変化したのが根本であります。

そういった状況の中、今年十月から〇歳～五歳(〇歳～二歳までは住民税非課税者対象)の幼児保育無償化が昨年六月に閣議決定され、子育てをする家庭には朗報となった事があります。一方で待機児童・保育士の確保など問題が解決されずにいます。国の対策として保育士試験の年二回の実施や処遇改善による賃金の引き上げなど、保育士確保に向けた取り組みをしておりませんがまだまだ十分な数の確保ができていません。

また高齢化も年々進んでいて、昨年度の高齢者の数は前年度に比べて四万人増加の、推計で三五七万人となり、四人に一人は六五歳以上ということになり、少子高齢化に歯止めが掛からない状況であります。

こういった中、六五歳以上を一律に「高齢者」と見る一般的な傾向はもはや現実的なものではなくなりつつあり、七〇歳以上の方でも、意欲・能力に応じた力を発揮できる時代であるとの見方が強くなっています。

年金の受給の繰下げや七〇歳以降の受給開始の選択といった社会保障制度の見直し、またお年寄りも障害や難病がある方でも個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を選択できるような「働き方改革の実現」の推進など、先の風景を見据えて持続可能な高齢社会を作っていく動きがあります。

しかし、「二〇二五年問題」と言われるように日本の人口では三人に二人が六五歳以上になり介護業界でも介護の需要が高まると推測されています。

先の対策を講じて、人材不足は確実であり、外国人労働者の受け入れなどで確保せざる得ない状況になってきており、やはり今以上に魅力ある職場作りや経験豊富なベテランを育成することが必要と思われれます。

例年同じことはかりお願いしておりますが引き続き保育職員・介護職員を募集しております是非ご連絡いただけますようお願い申し上げます。

また、清華園では入所以外でもたくさんさんの事業を行っておりますので是非ご活用して頂きたいようお願い申し上げます。

今年も職員一同がんばって参りますので、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

〈平成30年1月～平成30年12月までの業務報告をいたします。〉

○おもな業務

- | | | | |
|-------|-------------|---------|----------------|
| 1月9日 | 新年交礼会 | 6月7日 | 民生博愛会後援会役員会・監査 |
| 2月5日 | 渡島総合振興局指導監査 | 9日 | 定時評議員会 |
| 23日 | 第5回理事会 | 15日 | 第2回理事会 |
| 3月1日 | 評議委員選任委員会 | 22日 | 民生博愛会後援会総会 |
| 13日 | 定時評議員会 | 9月7日 | 第2回法人内監査 |
| 14日 | 第4回法人内監査 | 20日 | 第3回理事会 |
| 23日 | 第6回理事会 | 10月2・4日 | 渡島総合振興局指導監査 |
| 4月7日 | 新入職員歓迎会 | 10月26日 | 渡島保健所衛生指導 |
| 5月16日 | 第1回法人内監査 | 12月4日 | 第3回法人内監査 |
| 25日 | 第1回理事会 | 17日 | 第4回理事会 |

※上記以外に毎月定例の園長会議、給食会議、介護部・保育部随時募集

▼ひとこと

◇先日、友達と雑談していたら、最近奥さんより、昔こう言っていたたでしょうとか、こうだったとかよく言われるが、全然記憶にない。私もそうだ。心当たりのある方もいらつしやるのでは。以前、男性は一日平均七千語をつかうのに対し女性は約二万語を使うという。コミュニケーションが活発で記憶力が高いのも女性。特に感情が絡むような記憶は敏感とこのことを聞いたことがある。

脳は、自分の意思とは関係なく、勝手に回りを見ているそうで、大昔より男性は狩猟に集中していたため周りに気を配らないが、何かを突き止めるのが得意。一方女性は、料理・子育てを並行して行うため、細かい気配りが上手で、何かをしている最中でも別の事ができるそう。私は二つの事は同時にはできないタイプ。よく性格の違いというが、もともと脳の作りの違いかな。ちなみに、人にやる気を起こさせるのが上手なのは女性で詐欺にかかりにくいのは男性だそうです。

▼編集事務局

- 委員長 鍛冶 潤一(民生博愛会事務局)
- 委員 大谷内綾子(東光保育園)
- 同 泉 睦子(第2東光保育園)
- 同 渡辺 紀恵(第3東光保育園)
- 同 有倉 七恵(第4東光保育園)
- 同 小松 由美(大野保育園)
- 同 松木 敦子(第2東光保育園)
- 同 阿部 靖祐(特養ホーム清華園)

011-88(2)51148

http://www.dish.ne.jp/minsei/
EM m-hakukai@ms6.ncv.ne.jp